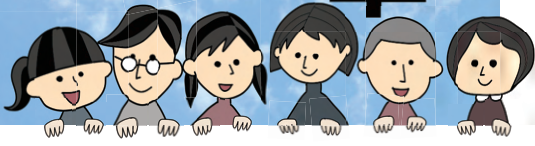


摂津スクール最前線！



毎月、市立小・中学校の取り組みや注目の人物、普段取り上げられない教育現場の舞台裏などを紹介・お知らせします。

問合せ 学校教育課へ

市では、令和5年度に**めざす学校の姿**を、以下のように決めました。

子どもたちが自身が主役となり
夢や未来を見据え学び続けている学校



学校に関わるすべての人にとって居心地が良くみんなとともに
創る持続可能な学校



この姿の実現に向けて、個に応じた支援教育の充実、子どもたちに信頼される教職員の育成を土台に、各学校で「キャリア教育の充実」と「魅力ある学校づくりの推進」を実施していきます。

今月は、「魅力ある学校づくりの推進」の重点的な取り組みである、子どもたちの「居場所づくり」と「絆づくり」について紹介します。

「居場所づくり」って？

居場所づくりとは、子どもたちが安心できる環境を、教職員が作ることです。

- ▼既に行っているあたり前なことに価値を付ける
 - ▼失敗しても笑わない、からかわない学級風土を作る
- この2つのことを全校で統一して行っています。

「絆づくり」って？

絆づくりとは、一つの取り組みを子ども同士が行うことで、子ども同士のつながりを作ることです。

- ▼学校行事など、きっかけとなる場や機会を準備し、自分から考え行動できるよう促す
 - ▼子ども同士で問題を解決できるようにサポートする
- この2つのことを全校で統一して行っています。

居場所づくりをご紹介します♪



味生小学校では、まわりの人を心地よくする行動を見つけ、にっこりポストに投函すると、双方に「にっこりメダル」が贈られる取り組みをしています。

子どもたちがお互いの良いところを見つけ合うなど、心地よい居場所を作る機会となっています。

絆づくりをご紹介します♪



鳥飼北小学校のラジオ体操コンクールでは、下級生に対し休み時間に体操のコツを教えたり、見本をビデオ撮影するなど子ども自らが考え取り組んだことで、学年を超えた交流が生まれました。

子どもたちが自ら考え、行動することで自然に絆を感じ取ることができる機会となりました。

➤ このような目標のもと、各学校で独自の取り組みを数多く行っています。次月号からは、**具体的な学校の取り組みを紹介していきます！**